

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	奈良県障害者総合支援センター わかくさ愛育園		
○保護者評価実施期間	令和8年2月19日		～ 令和8年3月2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	令和8年2月24日		～ 令和8年2月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○訪問先施設評価実施期間	令和8年2月19日		～ 令和8年3月2日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	11園	(回答数) 11園
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・わかくさ愛育園の児童発達支援と連携しており、訪問園に対してより具体的な間接支援(アドバイス)をすることができている。	・児童発達支援での児童の状況を把握したうえで、具体的な課題を設定しています。 ・訪問時の児の様子や、担任等から得た情報を職員間で共有し児童発達支援サービスにも活かしています。	・利用児だけでなく、保護者や家族との信頼関係を深め、更に相談しやすい関係を構築していきます。 ・訪問園からの質問に、具体的な事例を交えながら丁寧に対応することに一層努めます。
2	・訪問支援員は、経験豊富な職員が担当している。	・訪問時の児の様子や担任等から得た情報を職員間で共有し、次回の訪問でも取組を検討しています。 ・児が成功体験を積み重ね、自信につながる支援を提供しています。	・訪問園の特徴を踏まえながら、担任等のニーズに合わせた間接支援をいします。また、担任等が実際に幼稚園・保育所等で実施しやすい取組を提案します。
3	・可能な限り同じ担当者が訪問することで、児童の状況把握だけでなく訪問園との関係も築きやすい。	・児童や担任等園の生活の中で無理なく意識したり行動したりできる助言を行なっています。	・安定して訪問できる環境を整備するとともに、訪問園からの期待に応えられるよう職員の資質向上に努めます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・対応できる件数に限りがある。	・訪問支援員2名とも兼務であるため保育所等訪問支援のサービス提供日数・時間が限られます。	・訪問支援員の専任化には人員の補充が必要になります。 ・訪問件数を増やすために、すでに訪問している保育所・幼稚園等では可能な限り複数の児童に対応していきます。